

# 平成 19 年 町田天満宮秋季例大祭概要

主祭神 学問の神 菅原道真公

9月23日(日)

例大祭式典 午前 10:00

行事

式典次第に神前舞い奉納 } 稲城山本社中  
神楽 午後 5 時頃より 9 時 } 国指定無形文化財  
昼間(時間未調整) 奉納和太鼓 「未来太鼓道場」

9月24日(月) 振替休日

神幸祭(神輿渡御)

出御(宮出し)午前 9 時 30 分 入御(宮入り)午後 6 時

昼間(時間未調整) 奉納和太鼓 「未来太鼓道場」

午前午後 現代的リズムのダンス(ストリートダンス T A L I A)

午後 5 時頃より 9 時 芝居上演(花柳勝太郎一座)

\* 境内の露店数 両日ともに約 150 店

神輿巡幸路：原町田全域と中町 1・2 丁目 (別紙)

奉仕者：地元 6 団体に加え、各団体の招待友好団体が都内、横浜、相模原などから集まり、総勢約 600 名。

## 【見どころ】

午後 3 時 30 分頃、旧警察通りから小田急線踏切を渡って駅前を中心街に入ると、各町内会の神輿が連なる。

コース最終区域では、6 時の宮入りに向かって、それまで取り決めによって担がれてきた肩入れ分担がフリーとなり、華棒と呼ばれる神輿中央の 2 本の縦棒、特にその前の部分の奪い合いが激しくなり、木頭(本年度 町田天満睦会長 西川 満)が最後の木を打って渡御が終了するまでの間、神輿の周囲は異様な興奮状態となる。

## 神輿解説

天保年間以前より平成 4 年まで、150 年以上かつがれてきた神輿は、現在神輿庫に常時展示中。現在使われている神輿は、平成 5 年に氏子崇敬者の奉納により新調されたもの。

近年では学問の神様として親しまれている菅原道真公であるが、神格の歴史的史実では、当初雷神として神様となっている。雷神の神様すなわち天候の神様であるから、町田でも本町田の菅原神社、南大谷天神社と並び、祀られた頃は農耕神であったが、次第に生前の学才や温厚な人柄が、時代の流れ、国内の風潮と共に民衆の求める御神徳を変えてきたようである。当社の例祭は本来 9 月 24 日 25 日と定められていたが、神輿渡御の奉仕者の都合や、祭客のことも考慮して近い土日にスライドさせている。本来の日で行っていた頃も降雨率は 80% を越えていたが、当初雷神として祀られた御祭神の霊威が、スライドしても降雨率は変わらず、必ず降られるか、もしくは数年に一度台風の直撃を受けたりもしている。過去、40 年間で、両日とも晴れたのはたったの 4 回。地域住民が「雨の天神様」と呼ぶのもうなずける。降らなければ祭はめでたい。降っても御祭神の霊威を感じてめでたい。どちらにしてもめでたい神様である。

鎮座地 東京都町田市原町田 1-21-5 電話 042-722-2325 FAX 042-724-2738

宮 司 池 田 道 夫

総代代表 石 井 朋 男

祭典委員長 田 所 健 一

詳しくはホームページで <http://tenmangu.newsinet.com/>